

第1次新昭和「100円梅花」他貼りの航空便

永吉 秀夫



第3地帯あて2倍重量航空便 名古屋東 S23(1948). 1.9 → ブラジル
料金内訳：2倍重量書状6円+航空料60円×2

国内封書1円20銭の時期に、その100倍以上の126円という高額料金となった航空便です。梅花図案の切手が3枚貼ってありますが、100円は無目打の第1次新昭和、10円は戦前発行の第1次昭和です。この時期の高額切手としては第2次新昭和の100円梅花、10円横らでんの使用が多いですが、この航空便には古い切手を使用されています。普通であれば新しい方の切手が貼られている方が有り難いのですが、実通使用例が少ない無目打100円や戦前の10円切手となると話は別です。

この時期の航空便第3地帯には米国本土が含まれますが、ありふれた宛先でないブラジル宛てというところが嬉しくなります。封筒が小型でアルバムリーフに整理しやすいのも有り難いです。封筒の裏面も賑やかなので、ご覧に入れておきましょう。

